へ13
3749
10

門 ハ 13
號 3749
卷 10

倭文庫拾九編

上の巻

辛亥
春
新梓

万亭應賀作
一陽齋豊國画

元大坂町代地
錦重堂版

釋迦八相倭文庫拾九編之序

大出家を釈子又釈門と云その呼謂如何怎麼佛の御名い迦の一字なり釋い佛の氏ゐ〻ゑ御名の迦の字と連てゆく〻釋迦と稱をそれ釋迦の一門三井文庫

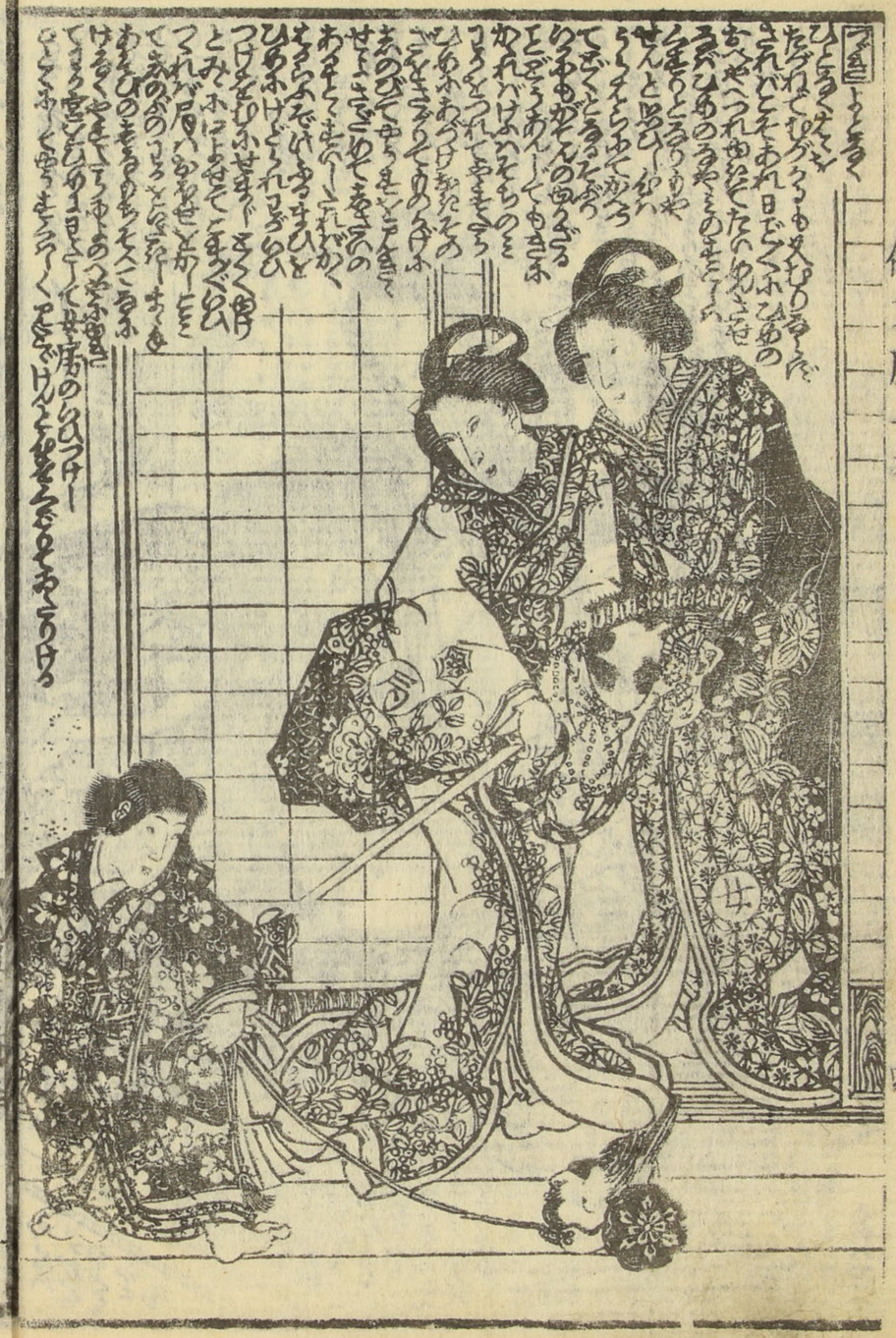
今江湖ゐ出家をさゝゑ釋子とも釋門とも佛子とも唱ゑ皆それ釋迦の一門業たるを以てあり又或書ゆい釈迦の三字い氏ゐ〻て年足と佛の御名ゑりと云り开い左も右も扨此巻ゆい天竺の名醫耆婆大臣の畏傳及び悉達太子雪山へ上る道ゆゑ天女と靈鬼と度〻〻其功績をとるゞに芋環るゆ愚ヨヌ巻ゆゑ〻〻くも看官を的ゆ祈〻いて爻の年ゑ新版るれゞと急まそヲット合点と端雄の矢猛心ゆあいて〻〻く認む

嘉永四年辛亥春發市

万亭應賀誌

頻婆沙羅王の
家臣天下の名醫
耆婆大臣
耶輸陀羅姫の
毒殺
の疵を即刻ゆ平愈せ
優陀夷
大臣
耆婆
大臣
優陀夷の女房
耶輸陀羅女

倭文庫十九
悉達太子の
妙舎利仙
雪山の道ふるそ
天人及び餓鬼を助て
天上界度一切
夜叉軍士悪報の
霊鬼
吉祥女の再生
善報の天女
妙舎利仙
地
火
水



女

應賀作 豐國画

倭文庫 三十四編 三十五編 三十六編 三十七編 万亭應賀作 一陽齋豐國画

赤松譚 九編 十編 如淵外史作 同画

重井菱 六編 七編 為永春水作 同画

譚柄璃璃蘇 四編 五編 西澤一鳳作 一勇齋國芳画

茶番案文 全冊 万亭應賀作 一陽齋豐國画

神代そのはな 三編 四編 同 一勇齋國芳画

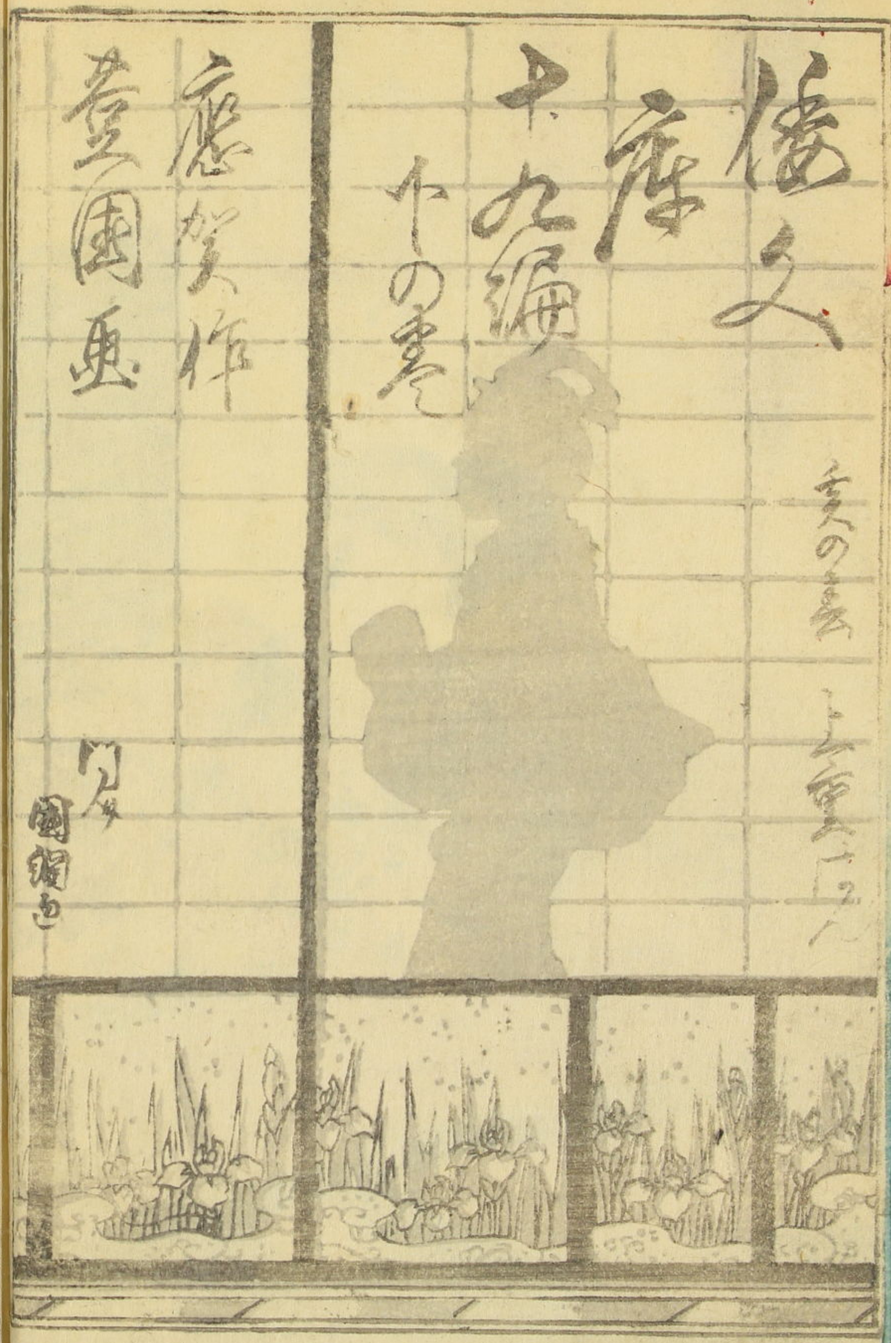
金本類錦繪 人形 上州屋重藏

俳文庫拾九編

一陽齋豊國画

嘉永四年
辛酉春新刊

上州屋版


優文庫
十九編
下の巻
歌川豊国画

空
風
火
水
地
太

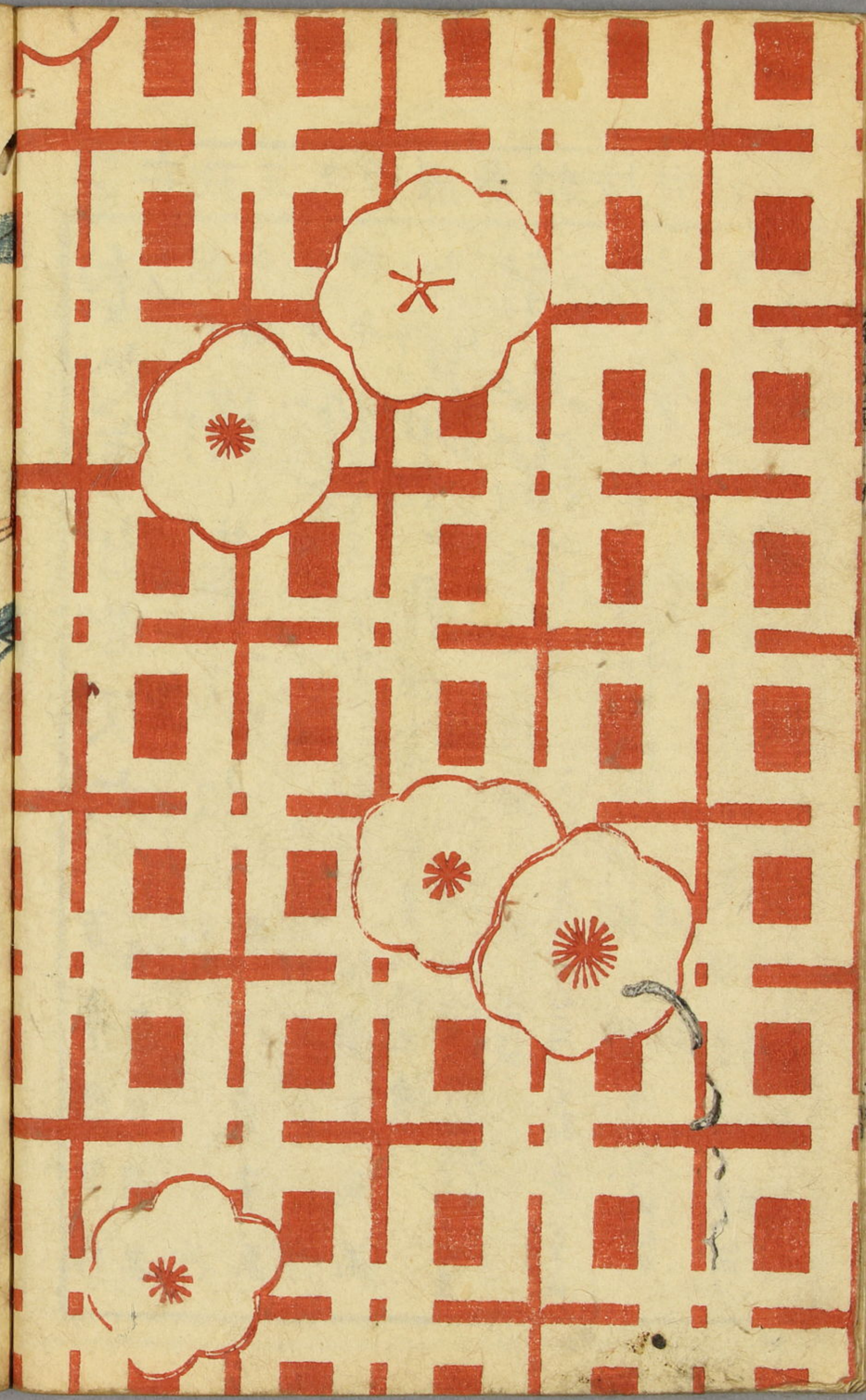
万亭應賀作 一陽齋豐國画

安政三年丙辰春新板目録

倭文庫出世双六	万亭應賀作 一陽齋豐國画	
春の手遊 将棋双六	同 歌川貞房画	
男女振合 役替双六	同 一陽齋豐國画	当年の新作役者を役替アレバ
大寶御江戸圖	極上摺 奉書六枚半續	江戸の外ハ一ツの仕立
清元稽古本	初編 二編 出板	三冊ニ形ち懐中本一冊ニ曲数八番ヅツ
常磐津懐中本	初編 二編 三編 四編	追々出板仕り
極上摺 百枚掛 擬百人一首	見事結構ニ仕立	一陽齋豐國合画 勇齋國芳画 立齋廣重筆

倭文庫貳拾編

一陽齋豊國画



倭文庫
戴籍編
上の巻
辛亥
春
開市
万亭應賀作
一陽齋豊國画
元大坂町
代地
上州
屋板

釋迦八相倭文庫二拾編之序

此巻ハ老日波女大臣と阿私陀仙人妙術を施して耶輸陀羅女の金瘡と療治南花の邪鬼を顕したる瓶を背負せ男女連ハ色情るゝ南無三宝の四訓があらて真逆身ふ没落の谷底ゑ地獄の谷もかゝるゆゑと然る悪女ハ白蛇の口虚蛇ぐちゆゑ因果ハ覿面权悉達太子ハ雪山ふ登りて三業九品の勤行及び五定心と煉玉ひ諸天ふ皈命し妙舎利仙の御名と改め雪山閣梨の北真臺の寒苦の勤を魔道の女欲妃悅彼狀觀とゝゆゑの障碍をなせはあらさるをゆゑふ著せ而已

嘉永四年辛亥孟陽

万亭應賀誌

倭文庫初編より七編迄

此度落字とあるゆゑ彫刻ふ念をいれて再板ゆゑ最上の摺ふ仕立製本出来仕候

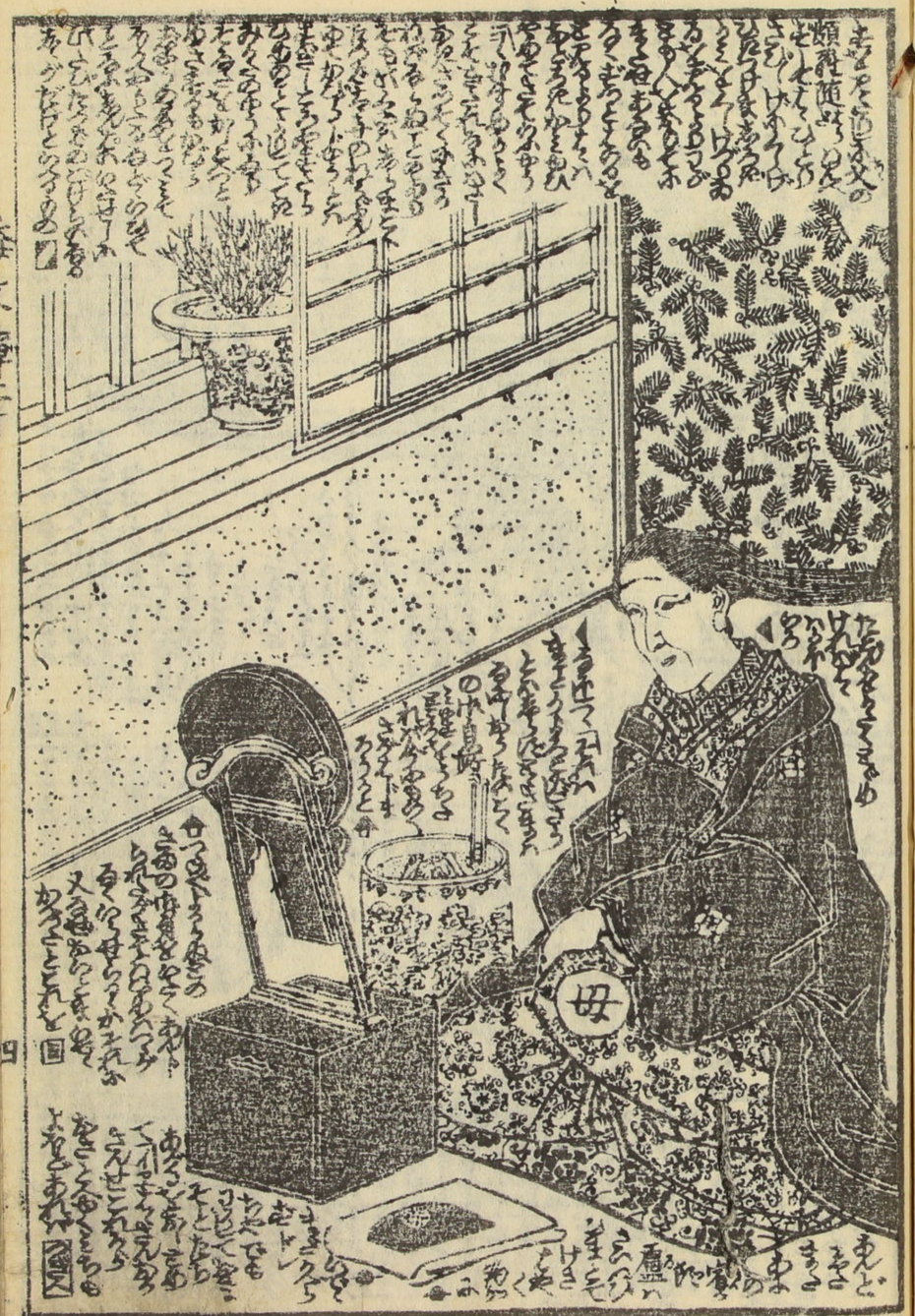
梓元 錦重堂 欽白

維那里國香山の阿私陀仙
淨飯王の勅ゝ應と轎曇彌
夫人耶輸陀羅女の
轎曇彌
阿私陀仙

優陀夷大臣
面相と觀通と身の禍と解示せ
優陀夷の女房

毘羅梵九志仙

悉達太子の
雪山
闍梨
悉達太子雪山の毘羅梵九志仙に再會して雪山闍梨と御名を改め三業九品の御修行を勤めまひ北真禪定臺の室に坐して五定心を煉るところ



廿

廿

浄
老日

老
仙

安政四年丁巳春新板目録

倭文庫　三十七編　万亭應賀作
三十九編　四十編　一陽齋豐國画

重の井菱染別小紋　七編　為永春水作
八編　同　画

昔語小栗實説　二編　松亭金水作
三編　同　画

花山吹百人女郎　初編　柳亭種彦作
二編　同　画

大寶御江戸圖　極上摺　奉書六枚半續

常磐津懐中本　初編　二編
三編　四編

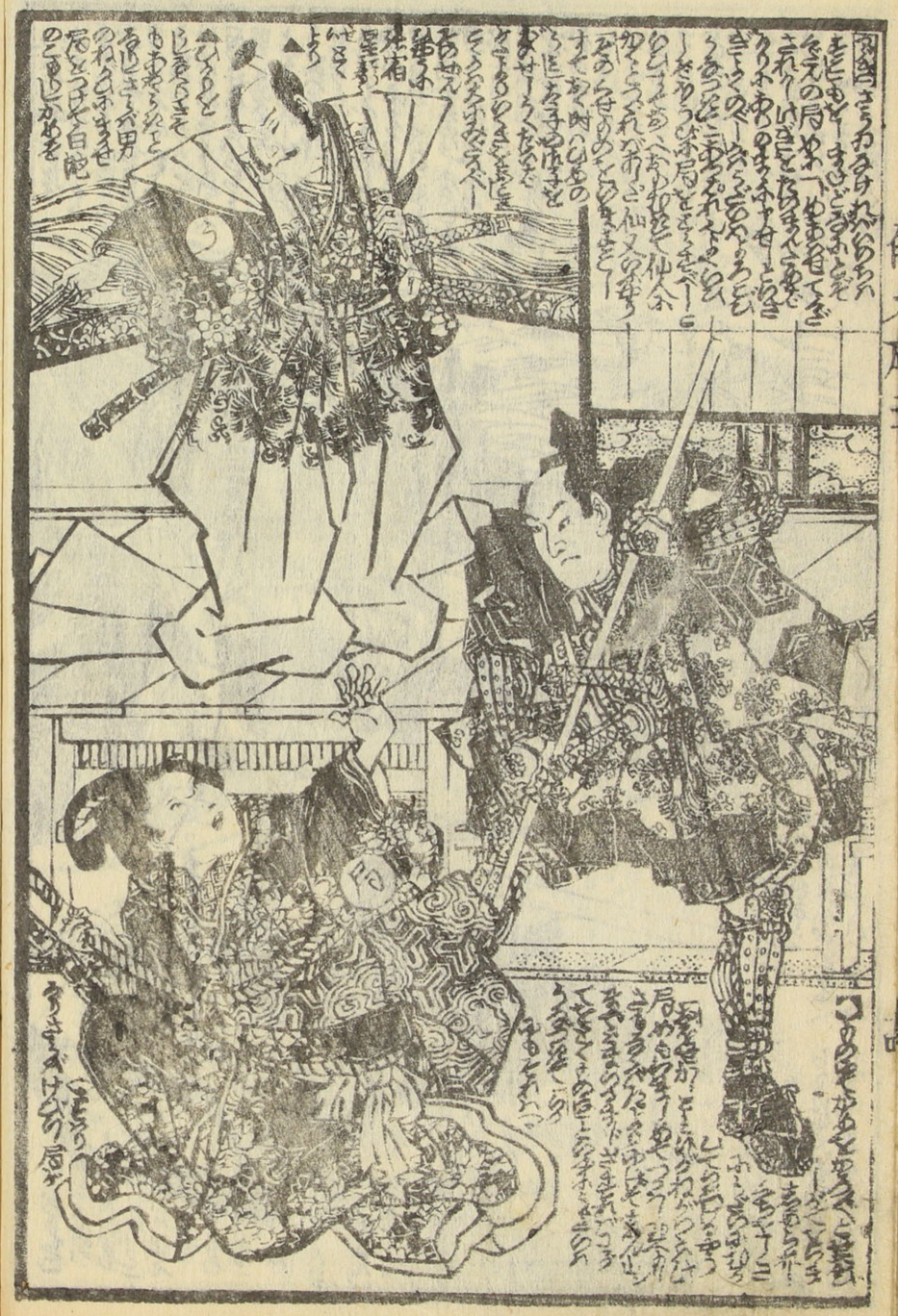
〈重　繪艸紙本類　人形町　上州屋重藏

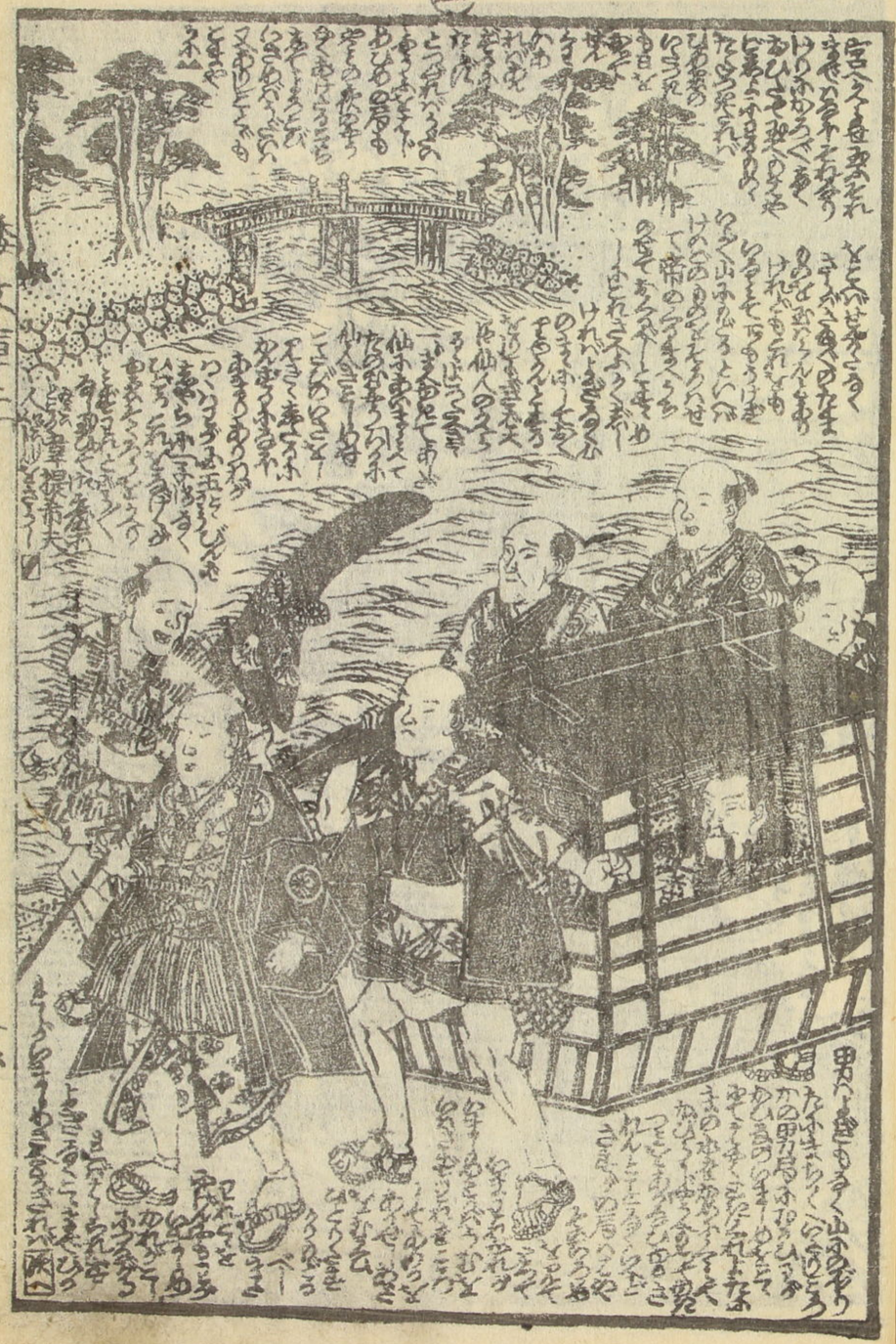
万亭應賀作
嘉永四年
亥春
發兌
錦堂堂版
下

上のまきよりつづき

さるほどに仙人のかずきのゆうさまつまびらかに帝へさしあげければ帝
らくらいの仙人のきさくおかんーー又きさきの
いまつくるめであ
人をあくれきつひ
さて又らくのの女房も
かくふ
さんこんつけ
とんこもふく仙人をまねと
ことのもるまに
ものうつ
のうつ
きあ
かるくらくれいあと
仙人あり
れさうとなあさを
らくのの女房
いまきるとうくつ
やをーこ
ようくつ
ようくつ
ようくつ

仙
女





万亭應賀作　一陽齋豊國画

安政四年丁巳春新板目録

俠文庫出世双六	万亭應賀作	一陽齋豊國画
春の手遊 将棋双六	同	歌川貞房画
男女振合 役替双六	出来の松の木ありうきくろ 同	一陽齋豊國画
武家奉公出世双六	同	同
奥奉公出世双六	同	同
極上摺 擬百人一首	百枚揃 一陽齋豊國画	一勇齋國芳画
重榮御江戸繪圖	奉書四枚半續	
端唄さいの竹	小本上中下の三冊ホンもとよりのたらさを あつらへくだされば ずらくさかくこと ごろ一ホ をちろ一てほうくるきたらくさのかぐこちろ	